

令和3年2月5日

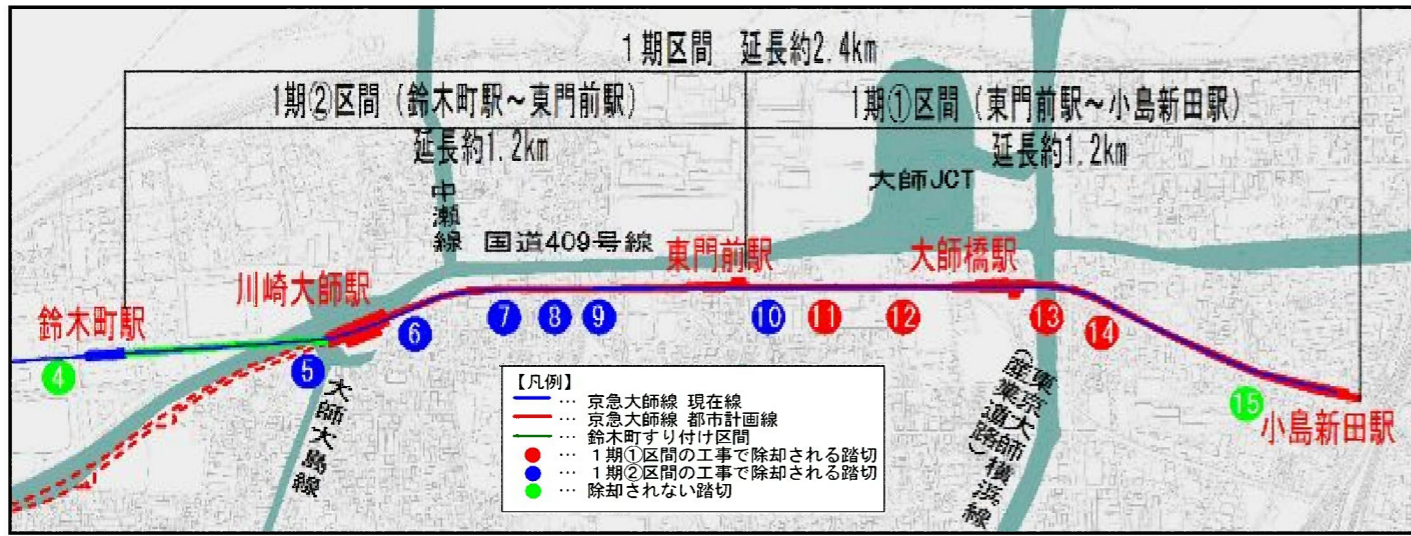
まちづくり委員会資料

京浜急行大師線連続立体交差事業
1期①区間の取組状況について

建設緑政局

京浜急行大師線連続立体交差事業 1期①区間の取組状況について

1 事業の目的



本事業は、小島新田駅から鈴木町駅間の約2.4キロメートルを地下化することで、上図の⑤～⑭の10箇所の踏切を除去し、道路交通の円滑化、踏切事故の解消を図るとともに、鉄道による地域分断を解消し、地域の一体的な発展に向けたまちづくりに寄与するものである。

また、工事については列車運転及び旅客等の安全に支障を及ぼす恐れがあるため、輸送上の安全確保の観点から鉄道事業者である京浜急行電鉄（以下、京急）と協議のうえで施行協定を締結し、工事施工を委託している。

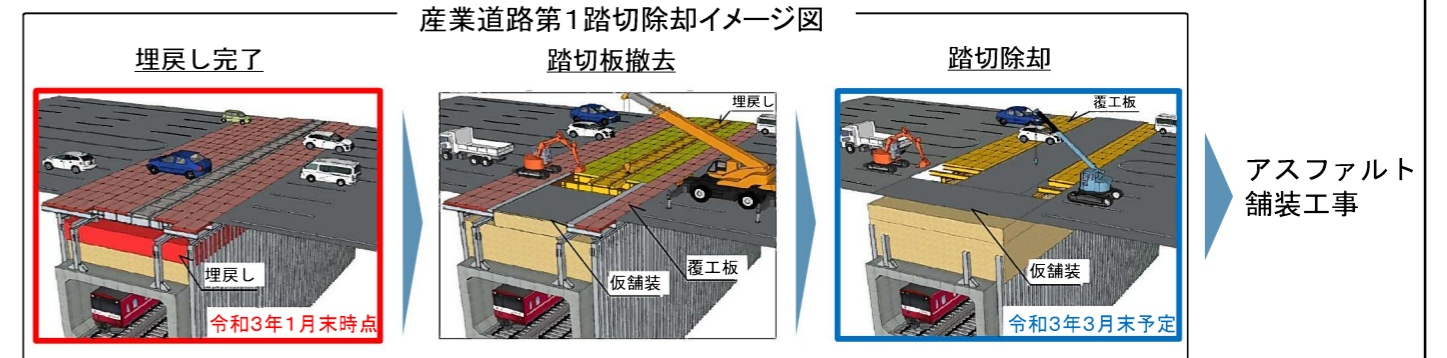
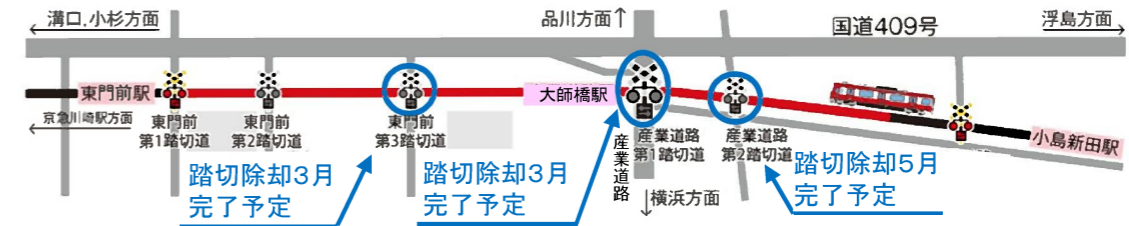
2 主な事業経緯

- 平成 5年 6月 都市計画決定（小島新田駅～京急川崎駅）
- 平成 9年 6月 施行協定の締結（1期区間：小島新田駅～川崎大師駅手前）
工期：平成8年度～平成14年度
- 平成15年 3月 施行協定の変更（1期①区間（小島新田駅～東門前駅）の設定、工期の延伸）
1期①区間 工期：平成8年度～平成22年度 事業費：約337億円
- 平成18年 2月 1期①区間の工事に着手
- 平成29年 4月 施行協定の変更 1期①区間 事業費：約642億円
- 平成31年 3月 1期①区間の地下運行を開始
- 令和 元年 6月 京急から事業費増額と工期延伸の申し入れがあり協議に着手
市から京急に協議と検証に必要な資料等の提出を求めた
- 令和 元年 11月 1期①区間の増額と工期の延伸があることをまちづくり委員会に報告
- 令和 2年 3月 市民生活に影響が大きい踏切除去などの工事の推進と検証に必要な期間の確保のために工期を令和3年度末に延伸する施行協定に変更し、引き続き協議を実施
1期①区間 工期：平成8年度～令和3年度

3 現在の取組状況

(1) 工事の状況について

令和2年度は、市民生活に影響が大きい踏切除去などの工事を進めている。



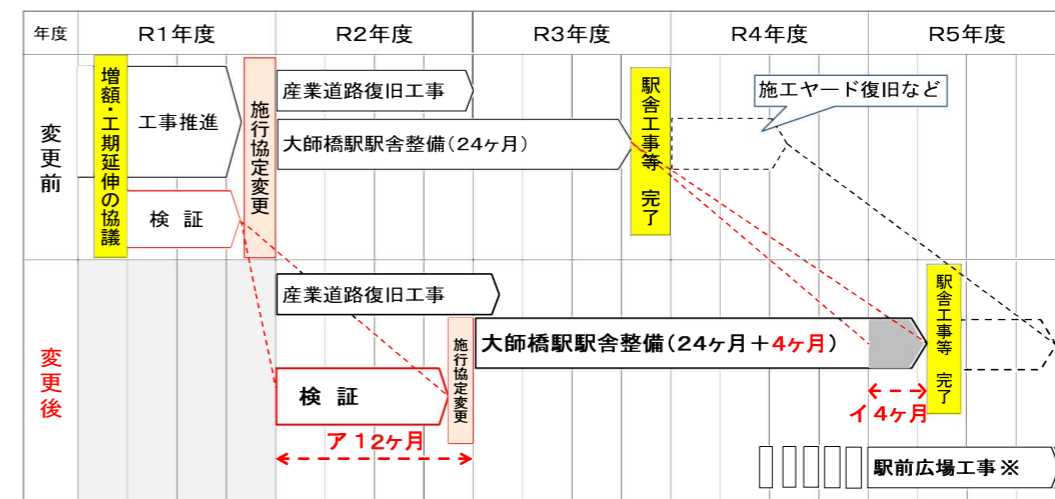
(2) 施行協定の変更について

① 現在の状況

令和元年6月に京急から申し入れがあった事業費増額と工期延伸について、必要となった理由や事業費の積算内容を確認するため、庁内の検証委員会における検証を進めており、適正な事業費と工期の検証を実施中。今後、学識経験者からいただいた意見も踏まえ、検証結果のとりまとめを行う。

② 今後のスケジュールについて

- ア) 「過年度の実績」の確認や「追加工事」の協議や検証に時間を要したため、**大師橋駅駅舎などの工事着手時期が12ヶ月遅れ令和3年4月から着手する見込み**
- イ) 大師橋駅駅舎整備の作業手順を見直した結果、より**安全な施工を行うため構内通路切り回し回数を増やす必要が生じたことから、整備期間を4ヶ月延伸する見込み。**



③ 今後の取組

検証結果をもとに京急と合意形成を進め、令和2年度中に施行協定を締結することで1期①区間の早期完了に向け取組を着実に進める。